

沖 縄

沖縄の景気は、公共工事が減速したものの、個人消費が堅調、観光が回復するなど、好調。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、食料品や化粧品を中心に百貨店販売が増加し、家電販売も増加するなど、堅調。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、足許減少。設備投資は、建築着工床面積が増加するなど、堅調。公共工事は、国、独立行政法人等、県、市町村いずれも減少するなど、減速。輸出は、一般機械、精密機器類が減少するなど、足許減少。

生産活動は、プラスチック製品、窯業・土石製品、金属製品が増加したものの、食料品、鉄鋼が減少するなど、概ね横這い。観光は、国内客・外国客ともに入込数が増加し、宿泊施設の客室稼働率も上昇するなど、回復。雇用は、有効求人倍率が上昇し、完全失業率が低下するなど、改善。

先行きは、好調が続くとみられている。

| 景況判断 | 個人消費 | 住宅建築 | 設備投資 | 公共工事 | 輸 出 | 生産活動 | 観 光 | 雇用情勢 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |